

平成19年度
第3期第2回 熊毛地区地域審議会
会 議 録

期 日：平成20年3月21日（金）

場 所：周南市熊毛総合支所

【会 議 次 第】

1 開 会

2 議 事

(1) 熊毛地区の課題について（各委員からの意見発表）

(2) 熊毛地区地域審議会としての検討課題について

3 その他

4 閉 会

平成19年度 第3期第2回熊毛地区地域審議会 会議録

日 時 平成20年3月21日（金）13：30～16：00

場 所 周南市熊毛総合支所 東庁舎2階会議室

出席者 ・委員14名（欠席1名）

丸山 和之、久野 利夫、前田 芳子、佐久田美智枝、藤井 里美、竹本 新、
中村 美代子、末廣 勝、小松 峯子、西村 照子、上田 辰巳、上田 悟
岡田 貞克、河内 卓彦

・事務局4名

熊毛総合支所長 木谷教造、次長 石光秀雄、
地域政策課長補佐 柳昭行、同課員 中村悟

資 料 「熊毛地区の課題について」

「熊毛地区の課題について」意見一覧

会 議 議 事 録

1 開 会

(1) 市民憲章唱和

(2) 総合支所長あいさつ

- 総合支所長 今日とは2回目の熊毛地区の地域審議会ですけれども、皆様からいただきました熊毛地区の課題について集約し検討していただきしたいと思います。よろしくお願いします。

（平成20年度予算計上している熊毛地区関連の主な事業について説明）

(3) 前回欠席委員自己紹介 （2名）

2 議事（要約）

(1) 会長あいさつ

- 会長 以前 皆様から、熊毛地区の課題について、いろいろご意見を提出いただきました。今日は、熊毛地区の課題について皆さんとしっかり協議して、これから熊毛の町をどうしたら良い町にできるのか、また、その役に立てるのか、しっかり検討していきたいと思います。忌憚のないご意見を出していただきしたいと思います。では、提出していただいた御意見につきまして、資料の順番にご発表をお願いします。

(2) 熊毛地区の課題について（各委員からの意見発表）

- 委員 勝間ふれあいセンターから山根商店に出るまでの道が、急に狭くなっているんですね。夕方になると中学生もたくさん通りますし、たいへん危ない場所になっています。これまでは家があったので拡幅も難しかったと思いますが、今はちょうど更地になっていますの

で、できるものだったら、今の間に何とか広げてもらいたいと思っています。

2番目に、熊毛地区の2/3ぐらいの人は熊毛地区の西よりに住んでいらっしゃると思います。そういう状態の中で、2月25日から勝間駅前の金融機関が無くなりました。ちょっとした振込でも、呼坂まで行かなくてははいけません。できたら市でも対応策を検討していただきたいと思います。

3番目ですが、熊毛公民館前にある国道2号線交差点の花壇が、とても荒れて汚い場所だったので、去年はふるさとづくり推進会議の協力もいただいて、いろいろな種類の花を植えました。今日も芝桜を植えてきましたが、通りがかりの地域の皆さんからも、草引きなどに協力したいという、うれしい声が寄せられています。声かけすれば協力的な返事がいただけるんですね。花壇の管理は、たくさんの方々の協力が必要で、とても私どもの会だけでは責任持って管理できません。他の団体にも協力を呼びかけて取り組んでいきたいと思っています。私の思いとしましては、花代として、100円カンパの協力をいろいろな団体の皆さんに募って、花いっぱいのみちづくりに活かしていただけたらな、と思っています。

4番目ですが、勝間駅前から勝間中村方面へ向かう歩道が一部整備されましたが、新原商店から山本商店までの車道が狭くなってしまっていて、見通しが悪く、車はセンターラインをはみ出して走行する状況です。できたら改良していただきたいと思っています。

●会長 今日、みなさんから意見をもらって、今後どういうふうにこの会ですすめていか協議したいと思いますが、2時間程度の会議を予定しておりますので、できたらお一人5分程度ぐらいでご発言をお願いします。もちろん、しっかり主張したいところは、しっかり主張していただきたいと思います。

●委員 私は、若者がもう少し地域に定住してほしいと思っています。高齢化が進む中で、世代間の会話が少なくなっており、少しでも会話が進んでいくためにも、コアプラザがそうした大切な場所になってほしいと思います。コアプラザの整備には、子どもから青年までの若い人の意見も聴き、取り入れてほしいと思います。

●委員 熊毛公民館は外観も中も非常に痛んでいます。視聴覚室では雨漏りもしています。将来この公民館はどうなるのか、倒れるのを待つのか？ というような感じなんですね。外観にしてもコンクリートの劣化が激しいですね。こうしたものを良くしないで、熊毛地域の活性化が進むのだろうか、という感じを持っています。

それと総合支所と本庁の関係です。老人クラブで保健士さんに健康のお話をしていただくのに、申請を届けると本庁にご相談される。時間的なムダを感じますし、そういうことが改善されないのかなと思います。本庁の既得権のようなものが周南市でもあるのかな、と感じます。今、熊毛地区を活性化するのは、時間のムダを無くすということもありますけども、お金を使う決定権が総合支所に無いんじゃないのかな、とも思っております。こうした点も改善していかないと、本当に熊毛が元気になるのかな、というような思いをしております。やっぱりまず、総合支所が力を持つ、つまり、熊毛で決められることは熊毛で決める、というようなことが非常に大事じゃないのかな、というふうに思います。

また、ツルが多く来るようになったら地域が活性化するのでしょうか。ツルを保護する自己満足もあるのかな、と情けないと思われるかもしれませんが、そうしたことも感じております。

- 会長 公民館、総合支所の権限、ツルの三つがポイントですね。ありがとうございました。
- 委員 母親クラブで勝間ふれあい公園の遊具の点検をした際、あまりに老朽化が進んでおり、危ないところがたくさんあったことに驚きました。総合支所には現状写真は提出してあるのですが、なかなかいいお返事はいただけませんで、まあ、撤去を待つしかないのかな、というような感じだったんですね。私の子どもたちが小さいころは、まだ遊具も新しくて、安心して遊べていたんですけど、トイレには落書きもあり、最近の子どもたちはちょっと可哀かなと思います。

それと教育問題として、不登校の生徒が通う「あすなろ熊毛」についてです。私の子どもの友達が行けなくなっちゃったんですが、その理由というのも幾つかありまして、こうした問題も考えてみる必要があるのではないかと思います。

また、ゆとり教育に関わる学習時間の使い方です。中学校では職場体験に四日間費やして文化祭が一日だけになりましたが、文化祭は足早に、大急ぎでやったというような感じなんですね。それよりか、職場体験を三日にして、文化祭を例年通り二日にするというようにしたほうが良いと思っていたら、今年度は職場体験が五日になると聞きました。その職場に個人情報があるような部署に配属された生徒は、することがなくて、コクリコクリ寝てたりするような状況にありますので、あまりいい職場体験になっていないように思います。それよりか、同じゆとり教育でも、学習時間の使い方をもう少し考えていったほうが良いのではないかなと思います。

- 会長 全国的にも老朽化が問題になっている遊具と、教育問題ですね。
- 委員 道の駅の新設、これもたいへん大きな問題だと思います。場所については、いろいろ考え方があるかと思いますが、私は、熊毛総合支所の敷地と建物を活用することが、駐車場等の場所も広く、税金の無駄遣いをしなくて済むので、一番良いのではないかと思います。特産品を選定して、地産地消をはかる。野菜などの農産物も地産地消により、荒廃地を少なくして、しっかり地域振興を図るということであります。この庁舎を、コアプラザと道の駅とで共用し、また総合支所は町の中心ですから、情報も中央集中を図り、情報の発信基地となればと考えております。道の駅のPRには、大きい看板を掲げ、また近くに温泉があるので、湯元から温泉を引いて、足湯でも作れば、また一つの魅力になるのではないかと思います。もし庁舎の共用ができないなら、2号線沿いに2箇所くらい良いところがあります。この点についても今後討議していったら良いのではないかと思います。

次に有害鳥獣の関係でございます。年末には勝間ヶ丘団地で、女兒を含め、女性ばかり14人が、サルに足を噛まれるなどの被害に遭いました。熊毛総合支所では対策本部を設けられまして、たいへん苦慮されたと思っております。ボランティアの会も一部立ち上がり、地域の警戒に協力いたしました。こうした中、12月28日、捕獲に見事成功され、サルは動物園に行き、対策本部は解散されたわけです。所変わりに、高水の大歳地区では、正月初めから15～20匹のサルが、野菜を食い荒らして被害が発生いたしました。地元住民もロケット花火をばんばん炊いて対処しましたが、ダメですね。山の方へ一時逃げておって、様子を見ながらまた出てきてワイワイやる。総合支所にも相談し、駆除をお願いしましたが、地理的に民家が近いので難しく、脅すことはできるけども、それ以上の事はできないということです。将来的にも野菜等を作るのに非常に苦慮することになりますので、自治会でも取り上

げておりますが、皆様も良いご意見があればお願いしたいと思います。

次に、高水の上大歳からまっすぐに見える烏帽子岳は、周南100景の一つであり、熊毛観光の8つのうちの一つということで重要視されています。このアクセス道路は生活道にもなっておりますが、痛みも激しくガードレールも無い状態で、車の転落事故も起こっています。車道と歩道の区別もなく、児童も通っており危険ですが、いろいろな制約もあり改良ができていません。

また、黒岩峡の問題ですが、シーズン中の夏は、多くの行楽客があり、駐車場も100台程度が確保されています。地元からは、道路が狭いので、どうにかならないかという声を聞きます。現地に行ってみたら、奥にキャンプ場がありますが、木が茂っていて、キャンプ場に適さない状況です。ボランティアで整備しようじゃないか、という声も挙がっています。木を切るくらいはできる。あとはバラスを持ってきてくれれば、通行可能になるじゃないか、という意見もございますので、こういった点もご検討をお願いします。

- 委員 提案のところだけ説明したいと思います。ちょっと漠然とした提案で、あまり具体的ではないのですが、日常生活圏を重視した町づくりと書いております。日常生活圏とは、徒歩や自転車で行ける範囲の圏域だと解釈しております。徒歩で行ける身近な場所に、いろいろなものが無くなってきました。車を中心とした社会になってきておりますので、そういう傾向は否めないと思います。

コンパクトな中心部で経費を削減する、いわゆるコンパクトシティという言葉は、ずいぶん昔から言われていますが、最近、改めて取り上げられている言葉です。つまり、施設が無秩序に郊外に広がっていくと、行政上の経費が、かかってしまう。だから施設を中心部にまとめて、経費を少なくしようということなんですけど、これは、それをつなぐ公共交通機関の連携が無いと、実際にはうまくいかないということがあちこちの実例で挙がってます。

それで、周南でいえば徳山を中心に、ということになるのでしょうかけども、公共機関を中心とした連絡・連携を密にする政策をしてほしいと思います。これは、ある意味で反車社会的な発想になるんですけども、同時に日常生活圏を大切にされた政策に繋がります。

それから、さきほど限界集落という話がありましたが、地域ごとに生活圏を重視した地域を作っていないと、逆に人が少なくなっていくという現象があるようです。周南でも山間部などに行くと、どんどん人が少なくなっています。フランスでいろんな施設が全部集まった建物をその中にまとめてしまうという計画がありましたけども、結局は失敗しましたが、下水にしろ水道にしろ、一つの建物に全部まとめれば、行政的な経費はかからないわけですから、一番有利ですけども、ただ人間とは、そういうふうに機械的には行かないものですから、今ある生活圏というものを大切にしながら考えていくことが必要であろうと思います。ちょっと漠然としましたが、全体的な考え方です。

それと、最後にこうした審議会や委員会には若い人がほとんどいないですね。失礼かもしれませんが、定年後に審議会に出てこられる人は、生活レベルが高い人で、生活上の細かな話というのは、あまり感じておられないことが多い気がします。今、社会には、ものすごい生活の格差が生まれていますので、若い人の参加も考えてもらいたいですね。

- 委員 課題はいろいろあるんですけど、今回は災害についてまとめてみました。熊毛には島田川もありますし、数年前、水害が起こっております。それから活断層が熊毛にあるわけで

すね。この前講演会があったのですが、熊毛の活断層はあまり心配する必要はないということだったんですが、実際には活断層ですから、いつ、どうなるかわかりません。熊毛には活断層を含めて4本の大きな断層があるんですね。一本は島田川沿い、それから次に岩徳線の南側と北側に平行して走っていきまして、活断層は新幹線よりちょっと北側にあると思います。農道ができておりますが、だいたいあのあたりと思われたら良いと思います。それが大きな断層ですが、これもいつどうなるかわかりません。とにかく、災害が起きてからでないと、考えないことが多いですが、実際には安心安全な町ということになると、平穏な時に考えておかないと、なかなかいざとなったらできません。

また、大雨のとき聞こえにくい防災無線も問題です。大雨や大風のときは戸を閉め切って、家の中ではぜんぜん聞こえませんので、家の中でも情報が受けられる方策を考えた方がいいと思います。

次にテレビの地上デジタル化についてです。こういう技術は、毎年新しいシステムができておりまして、これは熊毛だけで考える問題ではないのですが、こういうことも研究してみたらどうかなと思います。

それと、災害時の迂回路まで考えた道路整備の仕方、それも一つ大事なことだろうと思います。

さらに、最近では、家族の中でもコミュニケーションが無い時代です。災害時にはそういうコミュニケーションが大事ということで、家族から地域全体が、いつでも連絡が取れるようなシステムを作っていかなければいけないと思います。以上です。

●会長 災害に強いまちづくりということで、私は知らなかったのですが、活断層は熊毛に1本通っていて、併せて断層は4本あるんですね。また、防災行政無線は聞こえが悪いんじゃないか、方向が悪いのではないかと、いろいろな所でよく話が出ます。

●事務局 放送内容については、2回線しかありませんが、電話92-0800で再度聞くことができます。

●委員 道の駅について発言させていただきます。テスト的な道の駅を熊毛に設置することですが、今開催中の市議会でも道の駅のご発言が多いし、市長のご回答も多いわけですが、それを聞いておきますと、道の駅のだいたいのおぼろげな様子がわかってきました。

場所は東西に二つ検討されているわけですが、熊毛の場合は国道2号線上というのが浮かんでおります。なぜかといいますと、経営がうまくいくかどうかは、車の交通量が一番重要になるからです。

山口県には現在18の道の駅がございますけど、いずれも最大で一日24時間で1万台以下なんです。採算点が1万から1万5千台と言われておりますが、国道2号線は一日2万台くらいの交通量があります。国道1号線や3号線を初め、全国には道の駅がたくさんありますが、国道2号線には、大阪から下関まで一箇所もございません。これにはそれなりの理由があるんですけども、この周南市に国道2号線初の道の駅ができるというのは、非常に活性化の役に立つのではないかと思います。市長の発言を聞いてみましても、単なる道の駅でなく、多目的、多機能型の道の駅を狙っておられるようで、介護、防災、情報発信、あるいは伝統文化、給食センターへの食材の供給も、道の駅を通じて進めると議会でおっしゃってます。安心で安全な食材の生産を進め、また、自給率を上げていくための生産拠点という観点から

も、生産者の組織等を活用し、検討を進めていただきたいと思います。

それと戦略会議で検討されており、まもなく答申が出るとは思いますけども、私はこの問題をまず審議会で取り上げて、できたら早急に道の駅の部会を立ち上げてもらいたいと思っています。その時は、私もかつて石油会社に居りましたので、ガソリンスタンドをたくさん作っています。ガソリンスタンドは立地条件とか、よく似た検討をしておりますのでお役に立てるのではないかと考えています。

それから、緊急課題として、休日当番医診療制度の廃止問題を取りあげました。審議会の開催が遅くなったので独自に動きまして、一応、当面存続ということになりましたので、緊急という字は外さしてもらい、今後の課題とさせていただきたいと思います。

- 委員 2回の審議会で建議された問題で、こういう審議会で建議したものについて、その後のフォローが無いと出っぱなしになるということを憂慮しており、まずこの二つを取り上げました。

総合支所長さんのご説明で一番のコアプラザ熊毛については設計費が付いたよということでした。この内容等を早く説明していただいて、やはり、もう合併して5年も過ぎますので、このコアプラザを早く整備することが必要ではないかと思っています。

2番目に、水問題も周南市以外の二市が水は要らないということで、なかなか進んでいないようでしたが、なんとか水利権を分割するというので、話が着いたということをお聞きしております。審議会でまとめて建議したら、できるだけ何回も取り上げて、それを早く解決し、次の問題に入れたらいいのではないかと考えて、この二つを特に取り上げました。どちらも前に進むようですけども、しかし現実には広域水道については、まだ相当時間がかかるようにお聞きしております。こうしたことも地元から取り上げていくことが必要だと思います。

この二つがなんとか見えれば、次に皆さんがたくさん言われたものを絞っていったらいいのではないかと考えています。

- 委員 まずは道の駅に期待ということで、これに携われておられる方はきっと期待されていらっしゃるだろうなということと、加工所が元農村婦人の家にあったのが、今は全然使われていないんですね。道の駅にどんどん加工所から品物が出せるようになったらいいのではないかと考えています。

また、周南市の広報を見ると、ほとんど熊っていう字が無いんですね。熊毛ちょっと寂しいね、っていう意見を周りから聞きます。ちょっと大きなイベントが熊毛で開催されても載ってないんですね。あれって熊毛の行政さんサイドの考えなのか、イベントされる方のサイドの考えなのか、もうちょっと熊毛こんなことしてるんだよっていうアピールがあってもいいんじゃないかな、と思います。

今は同世代の交流はあっても、地域での交流が希薄になっています。コアプラザ等で、今後地域に根ざした、地域の皆さんとの接点が大いにできることを期待しています。

エコバックとか、車に乗らないで歩こうよとか、ちっちゃなことの積み重ねが、温暖化防止に繋がるんじゃないかと思っています。これは、一人ひとりの気持ちの問題だと思うんですけど、それを植えつけていくのも地域審議会の役かなと、これはちょっと大きなテーマですけど、書いてみました。

- 会長 道の駅への期待というのが最初に書かれてますが、農村婦人の家は、現在荒れ放題になっています。昔はご婦人の方が味噌を作るなど、いろいろ活躍の場であったような気がするんですけど、どうなってるんだろうと、いろんな方から言われます。こうした場所を通して、地元根付いた細かい取り組みをやっていく必要があると思います。

私は三点について書きました。まず1点目はコアプラザですね。1期からずっと出ていますので、早くなんとかならないだろうかと思っています。

2番目に、水問題ですが、新聞を見ましても進んでいるようなので、これもお金のかかる話で、なかなかすぐというわけにはいかないかも知れませんが、合併前の21のリーディングプロジェクトにも熊毛の水道基盤の整備をやりますよと出ています。取り組まなきゃいけないのではないかと考えて挙げました。

3番目に「さわやか熊毛道の駅」。道の駅については、みなさん考えておられるようで、市長も重点項目に挙げられておられます。これもいろいろ検討課題が多いと思いますけど、しっかり行政と市民が一緒になっていいものを検討し、将来性のある道の駅にしていかなければいけないと思います。

さて、今回文書で提出されなかった委員さんからも、ご発言をお願いします。

- 委員 コアプラザの整備は1期、2期とも強い願いでありますし、事務局からも最終段階になっており近いうちに住民説明もあるということですので、若い世代の人の意見も汲み取れるような住民説明の仕方を考えてもらって、より充実したコアプラザになることを期待しています。

また、荒廃地の利用促進のための強い組織ができないかと思っています。各小学校区で地区社協やコミュニティが4月には立ち上がって設立されますので、そういうところから出発したらどうかと思っておりますけど、災害時に障害者の方とか、一人暮らしの方とか、そういう人たちをどういうふうに安全な場所にお連れしたらいいか、ということも重要な検討課題だと思います。

- 委員 コアプラザは具体的な計画がどういうふうになっているかわからないんですけども、ぜひ審議して進めて言ってほしいなと思います。

熊毛地域には、八代の花笠踊り、新畑神舞、三丘の糸操り人形と、昔から伝わっている芸能があります。せっかく古くから伝わっている芸能を、いかにして次世代に繋げていくかが大切で、伝承館のようなものを、常に日頃から使えるような形をとっていけないかということの一つ思いました。

それと、現在小学校区毎に、地区社協やコミュニティ等が出来つつあり、これからの活動拠点は、各校区の公民館になると思います。そこへ向いていくのに、車で行くのではなく、健康も考えて近くの人歩いて行けるように、というふうに考えれば、歩道が重要になります。小松原地域では、立ち退き問題もあり、歩道がなかなか難しいということです。安心して歩ける道がほしいと思います。

- 会長 コアプラザの推進と芸能の次世代に繋げる対策、歩道の整備ですね。

これで意見書を提出された方も、そうでない方も、全員、ご発言をいただきました。

(3) 熊毛地区地域審議会としての課題について

- 会長 : 今日、皆さんから熊毛地区の課題についていろいろ発表していただきました。いろんな意見も出ました。これらの課題について、今からこの熊毛の地域審議会で、何をどう取り組んでいくかというのが大事になってきます。

もともとこの地域審議会については、市長の諮問を受けて、その諮問事項について検討するというのが一つ。それからもう一つは、市長に対していろいろな意見を申し述べることができるという、大きな目的があります。

今回、市長から合併検証についての資料提供があるかと思ったのですが、もう少し時間がかかるようです。そこで、委員のみなさんがこの地区の課題をどういうふうに思っておられるのか、考えをぜひ聞いてみたいということで、意見を出していただきました。これからの取り組みについてご意見のある方は出していただきたいのですが、どうでしょうか。

- 委員 水道については、熊毛地区で水道基盤を整備したら、おそらく水道料金が1.5倍くらいの負担増になるだろうと思います。それを含めて今まで議論がされているのでしょうか。都市計画税等、税金の関係をこの場で話すのが適切なのか、疑問です。

- 委員 市民の皆さんが、いろいろ要望をされますよね。地域審議会の中においても、水道基盤整備やコアプラザをはじめ、市に対するいろいろな要望が出ております。そういうものを整備していくということは、当然税金をつぎ込むこととなります。だから目的税のようなものも必要になってくる。市民は行政に対し、あれもください、これもください、と一方的に求めるだけでなく、市民もやれる事は自らやるということ、市民一人ひとりが考えるべきだと思います。

- 委員 この地域審議会から、年に1回は建議しなければいけないという決まりはあるのでしょうか。

- 事務局 決まっていることではありません。特に何も建議されなくても結構ですが、今後委員の皆様でいろいろ検討され、まとめれば、ぜひ市長に建議したいという形になると思います。目標は市長にどんどん要望をあげていくという形でいいんじゃないでしょうか。

- 委員 せっかく地域審議会というのがあるわけですから、やはり一年に1回か2回は、市長に意見を述べていくべきだと思います。

もう一つは、このまとめ方ですが、委員さんからたくさんご意見が出されました。この中でお聞きしていると、この総合支所で対応できるものも、大分あるのではないかと思います。熊毛総合支所で対応できるものと、周南市としてやってもらわないと出来ないものを整理してもらおうと、検討しやすいと私は思います。

- 事務局 細かい道路改良の要望や、遊具の修繕要望については、地域審議会としての検討課題としてでなく、個別事項として、早速にも熊毛総合支所の担当部署に連絡させていただきます。それ以外の事項については、大きなテーマも多く、熊毛総合支所でどこまで対応できるだろうか、と思います。

- 委員 今日、話題に出なかったのが給食センターです。平成17年度に出された集中化はご破算になっており、市長の議会答弁でもはっきりその旨を答えられていました。現在の熊毛給食センターは非常に老朽化しておりますので、今の場所に立て直すのか、別の場所に移すのか、また道の駅についても、もし市長から地域審議会に諮問が出されれば、この二つは

優先的に取り上げていかなければいけない問題となりますので、それ以外の事項について、どこまで取り上げていくかということになると思います。

●事務局 戦略会議からは給食センターについて、市内12箇所が適当であるという答申が出されています。その答申を受けて市の方針を出すことになると思います。その内容を確認されてから、地域審議会としてのテーマにするか考えられてもいいと思います。

●会長 市長は周南再生戦略プランということで施政方針を出され、5つの大きな重点項目を掲げられています。(会長から重点項目の説明)

行政さんも、もちろん頑張っておられるでしょうけども、私たち市民も一緒になってまちづくりに取り組んでいくことが大事だと思います。そのためには、まず、いろんな情報を共有しないと、うまく前には進まないと思います。総合支所長の権限が強化されるというようなことも新聞紙上で報道されていますが、現段階、地域審議会ではこれだけは取り組もうという優先課題についてはいかがでしょうか。

皆さんが大きく関心を持たれているコアプラザについて、現状はどうなっていますか。

●事務局 2期目の地域審議会でも建議されましたが、市では平成20年度の予算で1,017万円の実設計費を予算計上しております。20年度に実設計し、21年度から工事に入る予定です。

整備事業の進み具合によりますが、もし一年間で工事が終われば、22年度の早い時期から施設の供用を開始したいと思います。この敷地全体をコアプラザというふうに考えておまして、現在の総合支所の庁舎を東館、西館、中央ホールとしますと、東館と中央ホールの全部と、西館の一部を市民の皆さんに使っていただくという形を考えております。

また、現庁舎だけでは施設が足りないので、新館を建てて、図書館も移設したいと考えております。

この詳細は今、最後のまとめに入っておりまして、4月の下旬くらいには市民のみなさまにご説明できるのではないかと、思っています。

●会長 いずれにしても熊毛の皆さんには説明する場があるんですね。

●事務局 まずは公民館利用者への説明会、それから市民説明会や地域審議会、また、ホームページなどで広く説明をさせていただき、ご意見を賜りたいと思っています。

●委員 具体的な場所や広さについて、本日、発表してもらうことはできますか。

●事務局 今日はまだ無理ですが、平成20年度に予定している実設計で具体的な面積などを詰めていきますが、だいたいの大枠的なものを市民の皆様にお示ししたいと考えております。

●委員 その概要について、地域審議会でも審議という形になるのでしょうか。

●事務局 市民の皆様への説明会と、地域審議会での説明を、平行して実施させていただきたいと思っています。頂いたご意見は集約し、検討チームで再度検討したいと考えております。また、熊毛総合支所の中で縦覧期間というものも設けて、来られたお客さんもそれを見られて、ご意見をいただくということになると思います。

●会長 いずれにしても、情報を市民に提供して、行政と市民が一緒になって良いものを作り上げていくということですね。

●事務局 はい。

- 会長 市として、そこまで検討されているのであれば、コアプラザについては、この地域審議会での独自の検討課題からは、はずしてよろしいでしょうか。
- 事務局 コアプラザの市の案は、この地域審議会の建議されたものを反映したような形で作っております。4月の下旬から5月の上旬に地域審議会を開催したいと思っておりますので、その時にまとまった案をお示ししたいと考えておりますので、その時に、ご意見をいただければと思います。
- 委員 コアプラザに関する地域審議会からの建議の中で、保健福祉機能というのがあります、内容が書いてありますが、これがそのまま反映されているのでしょうか。
- 事務局 地域審議会では、具体的なスペース等も出されましたが。市ではこうした建議内容をベースに検討をさせていただいておりますが、必ずしもこの面積が確保されたようにはなっていません。担当部署とも協議いたしまして、各スペースが本当に必要なのか、また、ここここは一緒にできるのではないかと検討しております、若干変わっております。
- 委員 すでに2期でこの建議が出ておりますので、3期の審議会で考える事は、これまで建議されたもの以外に必要なものがあるかどうかだと思います。しかし、これ以外何か要望があるかという、ほとんど出尽くしているのではないのでしょうか。ただし、私が一つ希望するのは、現在公民館などで実施されている検診機能が無いことです。集団検診の機能を追加してほしいと思います。
- 会長 行政の方でも検討してほしいと思います。
コアプラザについては、次回の審議会でご報告していただくということでよろしく申し上げます。また、これまで出された意見の中で、総合支所で対応できるものは早急に対応していただき、次回ご報告していただきたいと思っております。
- 委員 公民館の話がありましたが、コアプラザができるまで、まだ2、3年かかりますね。それまでは、現状のままで大丈夫というお考えでしょうか。
- 事務局 公民館の老朽箇所は補修していく予定です。地域からの要望もあるでしょうし、コアプラザができたらすぐ壊すというような結論は出ないと思います。
- 委員 外も内も、少し手を入れて残していただきたいと思っています。
- 委員 高水公民館も老朽化しています。公民館は避難場所にもなっておりますし、きちんと整備しておいていただきたいと思っております。
- 会長 何がいま、生活基盤で大事かですね。ほんとに熊毛に住んで良かったと思える地域にしていく、そのためには自分たちは何をすればいいか、コミュニティとか地区社協とか、自治会連合会、そういったものが立ち上がってどうやって連携していくか。もちろん地域審議会もそういう情報をもらわなきゃいけないと思いますけども、行政と市民がお互いにしっかりやっていかなければいけません。そして本当にいま、何が大切なのか、これですね。
- 委員 先ほども意見が出ましたが、公民館の壁紙もはがれてきていますが、そういった補修も、すべて行政に頼るのでなく、利用者も負担するという考え方も必要ではないかと思っております。自分たちが使う施設を片付けたり、掃除したりといったことも大事ではないでしょうか。コアプラザや水など、いろいろ市に求めてもお金がかかることで、お金がかからないように考えていくことも市民には必要です。そうでないと結局税金をくれ、ということになります。

- 会長　　そろそろ時間になってまいりました。今日テーマを決めることは難しいですので、次回までに皆さん、一つずつ、これだけは、という課題を考えてくるということでどうでしょうか。
- 委員　　中山川ダムの水の問題につきましては、現時点での状況について、次回の審議会で具体的に説明していただければありがたいと思います。
- 会長　　次回の審議会で説明を事務局で検討してください。

(4) その他

- 委員　　住所の中に「熊毛」という言葉が欲しいということ、よく言われます。大字原と言っても、場所がわかりにくいので、「熊毛町」という名前を入れられないのか、地域でよく声を聞きます。合併時に決めたことで、もう変えられないのか、それとも変えることが可能なのでしょうか。他市では、たとえば岩国市では玖珂町、周東町など、ちゃんと旧町名が残っていますよね。
- 委員　　合併協議では、熊毛町という言葉が無くても分かるということで、その時は特別問題になりませんでした。
- 委員　　せっかく住所が短くなって良かったのに、「熊毛」を入れたら住所が長くなる、という意見もあります。
- 事務局　　熊毛全体を、もう一度全て熊毛町にすることはできませんが、住居表示という方法で、地域を限定して取り組んでいくことはできます。現在、住居表示ができているのは、新清光台と清光台の団地のみですが、熊毛という言葉を使おうということで、みなさんがまとまればできます。熊毛では区画整理に関連して、岩徳線までの区域と、勝間小学校周辺に新たに造成されている団地の場所で、住居表示をやろうということで、現在、審議会を設置し取り組んでおられています。

3 閉 会

会長あいさつ

- 会長　　予定時間も過ぎまして、どうもありがとうございました。今日いただいた意見を基に、もう一度皆さんそれぞれが、検討課題を絞り込んでください。また、合併の検証についても、資料が出来ましたら早く出してもらい、一緒に検討していきたいと思います。どうもありがとうございました。